

変動気象にも負けない根張りの良い元気な苗を作しましょう！
健苗育成による良質茎の早期確保で安定収量を確保しよう！

1. 播 種

(1) 播種日

- ・コシヒカリは登熟初期の過高温による品質低下を避けるため、8月5日以降の出穂を目指しましょう。
- ・コシヒカリの出穂期が8月5日以降となるよう、田植日は5月10日以降とします。
- ・5月10日以降の田植えにあわせて、播種日は4月20日以降にしてください。

(2) 播種量 ～ゆっくり丁寧に播種しましょう～

- 1箱当り乾籾140g以下(催芽籾175g以下)の薄撒き均播に努めましょう。
- ※五百万石、ゆきみらい等の大粒品種は1割増しで播種してください。

(3) 播種前のかん水 〈かん水時の弊害〉

かん水不足	床土乾燥・発芽不揃い・籾の浮き上がり
水切り不足	積み重ねた下段の箱が過湿・酸欠をおこす

2. 育苗ハウスの管理

- 温度計を2カ所に設置し(ハウス中央部と苗箱の位置)、温度管理を徹底してください。
- ハウス内が30℃を超えたら必ず換気して下さい！晴天時は急激に温度上昇するので注意！

(1) 播種後～緑化終了期まで：ハウス内温度は(日中)25～30℃、(夜間)15～25℃



【出芽終了のめやす】

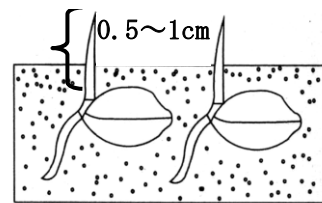


適度(0.5～1cm)



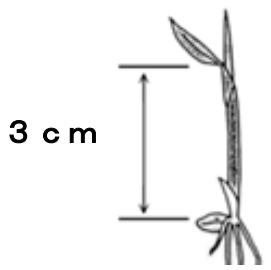
伸ばし過ぎ

加温出芽の場合の出芽長のめやす



被覆資材の中の温度が上がり過ぎないように必ず確認しましょう。

(2) 緑化終了の判断と苗ヤケ防止：ハウス内温度は(日中)20～25℃、(夜間)15～18℃

(緑化終了の目安)	茎の長さが、3cmになったら、育苗シートをとります。 ※こしいぶき、ゆきみらい、あきだわらの緑化は1日程度長めで苗丈を確保します。
	“高温・高日射により苗ヤケの心配で迷った時は、被覆資材をはぎましょう！”
	※特に、被覆資材が1重の場合は、苗ヤケに注意！

(3) 硬化期の温度管理と水管理

期間(目安)	12～13日間
管 理	①前半はこまめな温度管理、後半は霜や強風に注意し徐々に外気にならします。 ②1日1回午前10時頃迄、後半は1日2回昼頃までにかん水しましょう。 ★夕方かん水すると育苗箱の床土温度が下がり、根張りが悪くなります。 午後3時以降のかん水は避けましょう！
温 度	日中 … 15～20℃ 夜間 … 10℃以上

※注意※：プール育苗では気温が高いと水温が上昇して徒長しやすいので、換気に十分留意しましょう。
緑化が終了し、湛水後は原則として昼夜ともハウスのサイドビニールを開放して下さい。

目標とする稚苗の規格苗

苗丈：12cm	葉数：2.0葉	葉色：緑色	第一葉鞘長：3.5～4.0cm
育苗日数：20日程度			
根張りがよい	苗が太く硬い	病気が無い	

苗丈が伸びて軟らかい
苗の生育にバラツキがある
葉幅が細い、軟弱徒長

第1葉の長さのバラツキが大きい
第1葉までの長さが4cmを超え細く伸張している

鞘葉が1cmを超えメソコ
チルが伸長している

黒ずんだ根がみられたり
場所によりマット形成が
悪い箇所がある

悪い苗

苗丈：12cm
葉が直立し硬い感じがする

第3葉がわずかに伸びてきている

第1葉が良く揃っている
第1葉までの長さ(第1葉鞘長)
が3.5～4cm

鞘葉(白く透明)が0.5～1cm程度

根が白く、根の張りが良い
マット形成がよい

良い苗

(4) 田植え前の追肥(苗の老化防止と田植え後の活着促進)

- ①散布時期 … 田植え4～5日前
- ②専用肥料(何れか1資材)…「べんとう肥」360g/10a(18～23箱)を散布します。または、「くみあい液肥2号」を270g/10a(18～23箱)かん水します。
※くみあい液肥2号は肥料ヤケを防ぐために、追肥は夕方に行い、その後、十分にかん水して下さい。
「くみあい液肥2号」の希釈方法(10a当り18箱を使用する場合)

	1箱当たり	100箱当たり	箱
くみあい	15 g	1.5 kg	kg
液肥2号	12 ml	1.2 ℓ	ℓ
水	1 ℓ	100 ℓ	ℓ

お問い合わせ先：とちお営農センター TEL：0120-91-5885
ながおか営農センター TEL：0120-91-5882

3. 本田の準備

- (1) 表面排水・・・圃場排水に努め、田を乾かしましょう。⇒ 移植後の活着が良くなります！
- (2) 均 平 化・・・高低差のある圃場は、整地キャリアなどで均平化に努めましょう。
- (3) 畦 塗 り・・・畦からの漏水を防止しましょう。特に、ネズミ穴に注意！
- (4) 農道・畦畔に除草剤を使用する際は、薬剤の使用基準を守り、丁寧に散布してください。
(エコ・5-5 運動「肥料・農薬使用基準」を必ず遵守してください。)

4. エコ・5－5栽培 基肥使用基準

※10a 当たりの上限となる施用量			
	けい酸入り エコ・5-5 専用元肥 (10－6－6)	フレーバー ペースト 734 (7－3－4)	越後の輝き有機 50 スーパー元肥・スーパー元肥ロング (12－6－5)
コシヒカリ・こしいぶき こがねもち・五百万石 等	30kg	42kg	47kg
「わたぼうし」のみ	47kg	67kg	64kg

※ 土壌条件に応じ、上限以内で施用量を加減してください。

5. 土づくり・耕起

- (1) 耕起では作土深15cmを確保し、根張り改善を図りましょう(回り耕ち、スタブルカルチ等)
- (2) 「完熟発酵ケイフン(イセ有機)」で地力アップを図りましょう！
・イセ有機の施用めやす：コシヒカリ3袋(45kg/10a)、こしいぶき5袋(75kg/10a)
◎特に砂質圃場等で地力が低く、例年倒伏が無い圃場では、耕起前に基肥を使用基準量
上限まで散布し、さらに「完熟発酵ケイフン」(イセ有機)、または、基肥や穂肥に
「味好2号」、「フジミペレット731」、「みらい有機831」での補完をしてください。

- (3) ケイ酸質資材の散布で高温に耐えられる稲体にしましょう。

- ① みつパワー：60～120kg/10a
- ② 粒状ようりんケイカル14号：120～160kg/10a
- ③ ニュー米スター(ソイル米スター)：30kg/10a
- ④ マルチサポートFe：40～60kg/10a
- ⑤ 農力アップ：60～100kg/10a



※ ごま葉枯れ病発生圃場や下葉が枯れ上がる“秋落ち”水田では、特にケイ酸質肥料や含鉄土づくり肥料(みつパワー、マルチサポート Fe、農力アップ 等)を散布しましょう。

6. 代かき

- (1) 代かき程度・・・水持ちの良い圃場では練り過ぎないことがポイントです。
- (2) 時 期・・・田植え2～3日前までに行い、土を落ち着かせます。
- (3) 均 平 度・・・均平化に努め、除草効果の向上や斉一な生育を図って下さい。

7. 田植え

- (1) 好天日に田植えをし、活着を早めましょう。
- (2) 田植時期・・・コシヒカリは5月10日以降田植えが、エコ・5-5 米の要件です。
※減収防止のため5月末までには田植えを終えましょう。
- (3) 栽植密度・・・コシヒカリ50株/坪(低地力で収量が少なく倒伏しない圃場は60株/坪)
こしいぶき等早生品種60株/坪以上
- (4) 植込本数・・・3～4本/株になるようツメを調整。※多苗植えは根が浅くなるので注意！
- (5) 植付深さ・・・2～3cm ※深植えすると活着・分けつの発生が遅れるので注意！
- (6) 箱施用剤の施用 <<栃尾・山古志地区のエコ全品種>>

適用害虫名	使用薬剤	使用量	使用方法	使用時期
いもち病、イネミズゾウム イネドロオイムシ、ニカメイチュウ ウンカ類、イナゴ類	Dr.オリゼ・プリンスピノ 粒剤 6	50g/箱	育苗箱の苗の上から均一に 散布する。	移植3日前～ 移植当日
フタオビコヤガ				緑化期～ 移植当日

※JA育苗センターやJA硬化苗受託者から苗を購入した方は、移植前に箱施用剤の散布はしないで下さい。(箱施用剤散布済みの為)

※JA栃尾育苗センターから購入する山古志地域のコシヒカリ苗(エコ・5-5ではない)にはイネドロオイムシ対策として「ファーストオリゼリディア箱粒剤」が散布されています。

箱施用剤使用の際は、育苗ハウスに残留しないよう注意しましょう。

8. エコ・5-5 用水田除草剤

薬剤名		10a 当たり 使用量	使用時期(農薬登録)
初期 剤	ソルネット1キロ粒剤※	1kg	移植時～ル・エ1葉期まで(但し移植後30日まで)、植代後～移植前7日まで
	エリジャン ※	乳 剤 300ml	移植直後～ル・エ1葉期まで(但し移植後30日まで)、植代後～移植7日前まで
		ジャンボ 300g	移植直後～ル・エ1葉期まで(但し移植後30日まで)、植代後～移植前7日まで
一 発 剤	カウンシル エナジー	1キロ粒剤	移植時～ル・エ3.5葉期(但し、移植後30日まで)
		フロアブル 500ml	
		ジャンボ 400g	移植直後～ル・エ3.5葉期(但し、移植後30日まで)

※作付品種が前年と変更になる場合は、初期剤(ソルネット、エリジャン)を散布し、前年秋の落
下粒による混種を防止しましょう！(特にうるち⇒もちへの変更では必ず実施してください。)

- エコ・5-5 栽培での注意点 ①ソルネット又はエリジャンは、何れか1つの剤型のみ使用できます。
- ②「コシヒカリ以外の品種」は初期剤を使用できません。

<<水管理の方法>>

粒 剤	水深5cm程度で、散布後4～5日間はそのまに保ち(水を動かさない)、 7日間の止水管理 ⇒その後は通常管理
フロアブル ジャンボ	水深6cm程度で、散布後4～5日間はそのまに保ち(水を動かさない)、 7日間の止水管理 ⇒その後は通常管理

- ※ 散布後4日以降に水が切れたら、静かに差し水を行います。
- ※ エコ・5-5 運動参加圃場では、栽培指針に基づいた施用を行って下さい。